

小祭礼

諸沢事務所便り3

平成二十七年三月吉日発行

三月に入りました。気温も上がり、あちこちで梅の花を見るようになりましたね。いよいよ「小祭礼」です。

七日には、「事務所開き」を改善センターで行いました。これからは、区ごとに役員が当番となり、毎日事務所に詰めておられますのでお立ち寄りください。

花纏の作成について

花纏については、前回作られた物があり、造花の花が色褪せずにあるということから、手直しをするだけで良いのではという考えもありましたが、他の三地域に負けない物で参加しようということや手直しするにも作り直しに近い手数がかかるとの理由で新しい物で参加することとなりました。

一日から「高村定一」氏にお願いをして制作に入りました。あいにくの雨天。籤や支柱となる竹を切る予定でしたが、「定一」氏と「細貝義一」氏が前日に籤は用意をしてくれていましたので、スムーズに進めました。花纏の係だけでなく総務・後見人・鳴り物の係など（役員ではない「相沢英昭」氏も参加してくれました。）

皆さんの協力により、五日に完成しました。予定より早い完成です。白い花も入りいつそう華やかになりました。行灯も一新しましたので、見栄えが増したようです。ホールに飾ってありますので、ぜひ見に来てください。



○「奉納の舞」について

奉納の舞の内容が明らかになってきました。

踊り手は、堀さんをメインにダンススクールに通う子どもが四人。音楽「笙」が三人です。雅楽の音の響く中での踊りは、どのようなものなのでしょう。幻想的なものとなることでしょう。楽しみですね。

また、踊る場所も三カ所（小学校校庭・鏡泉院・十二所神社）となりました。都合の良い場所でご覧ください。

「三月二十九日「本祭」のバスの運行について

前回の「便り」でお知らせしましたが、当日の西金砂への往復バスの運行について次のようなことが分かりました。

二種類のバスが運行すること。一つ目が「諸沢事務所」で手配したバスで、二つ目が「西金砂事務所」で手配したバスです。どちらにも乗ることはできませんが、時間や乗降場所が決まらぬので後日配り紙を紙の上、都合の良い場所や時間を決めてください。尚、定員オーバーで乗れない方が出ないよう気をつけたいと思います。

